



日本共産党
市会議員

●Eメール masanobu55193@gmail.com

大石 まさのぶ

小倉北区砂津2丁目5-13

2025年 9 月 21 日 NO.164 電話093-555-3309 携帯090-3601-8172

生活・法律相談

毎週水曜日 18時より

☎555-3309

事前に予約が必要です

9月議会

物価高騰から市民のくらし守れ



党市議団の市政懇談会=9月6日

武内市政「稼げるまち」の検証

物価高騰対策を要望

9月定例会は、9月4日から10月7日まで開催されています。武内市長が「稼げるまち」を重点政策として掲げる基本計画「新ビジョン」の令和6年度の決算審査が行われます。

わが党の荒川議員・市議団長は、会派質疑で、物価高騰対策として、参議院選挙でも大きな争点となつた消費税減税やインボイス制度の廃止を国に求めるよう質問しました。ところが、財政変革局

長は、「消費税は、社会保障の重要な財源であり、国への要望は考えていない」との回答でした。また、荒川議員が、下水道料金の一定期間の免除、指定ごみ袋代金の無料化を求めたのに対して、当局は、「実施する考えはない」と、冷たい姿勢に終始しました。

本市の市民一人当たりの個人市民税額は6万8千円で、政令市の中で最低水準です。これは、物価高騰のもとで市民生活がいかにか厳しい状況に置かれているかを示しています。

加えて、負債総額一千万円以上の市内企業の倒産件数は92件に達し、前年より12件も増加するなど市内中小企業の経営は、深刻さを一層増しています。



武内市長に来年度予算要望=8月26日

北九州市議団は8月25日、市長に対して2026年度予算の提案を行いました。

来年度の予算提案

下水道・指定ゴミ袋を無料に

提案書は、①物価高騰から市民のくらしと事業者の経営を守ること②市民の医療と福祉を充実させること③安心して子育てができる環境づくり④市民の知恵と力をいかすまちづくりを進めること⑤憲法の精神を活かし、平和と人権を守るまちづくりを進めること、以上5つの柱からなり、267項目（重

点事項32項目）を要望しました。

生活保護の遡及の回復を

◆国に対し、急激な物価高騰から市民生活と地域経済を守るため、消費税を緊急に5%以下へ引き下げること。また、中小零細業者の淘汰を招き、地域経済を一層衰退させる適格請求書等保存方式（インボイス制度）の廃止を要請する」と。

◆本市独自の対策として、大口使用者を除き、下水道使用料を一定期間免除するとともに、指定ごみ袋を無料にすること。

◆国に対し、生活保護行政に関する最高裁判所の判決を踏まえ、引き下げられた基準を速やかに元に戻し、各種加算の改善を行うよう求めること。

◆すべての生活保護受給世帯に対し、エアコン購入・設置費用を給付するよう国に求めること。

小6、中3の3か月給食負担の軽減

物価高騰対策として、市立小中学校・特別支援学校の小学6年生と中学3年生の学校給食を26年1月～3月分を無料とするため1億7300万円を計上。児童・生徒1人当たり約1万2900円～1万6200円の負担減です。しかし、学校給食の無償化とは程遠い内容です。



学校体育館のエアコン設置

中学校2校と特別支援学校の1校の体育館に先行してエアコンを整備し、効果やコスト、適したエアコンの種類を検証し、今後の整備方針にする。



オスプレイ飛行

夜間・低空飛行訓練は中止せよ



オスプレイ飛行を視察=8月26日・陸自佐賀駐屯地



市長への申し入れ=9月9日

党市議団は、8月26日、陸上自衛隊にオスプレイ17機が配備された佐賀駐屯地を視察。また、9月9日市長に以下の低空飛行や夜間飛行訓練は、北九州市でも小倉駐屯地などを含めて実施される計画です。過去には墜落や機体損壊事故も発生しており、その原因はいまだに解明されていません。市民の生命と安全を脅かす訓練は到底容認できません。

オスプレイ視察・申し入れ